

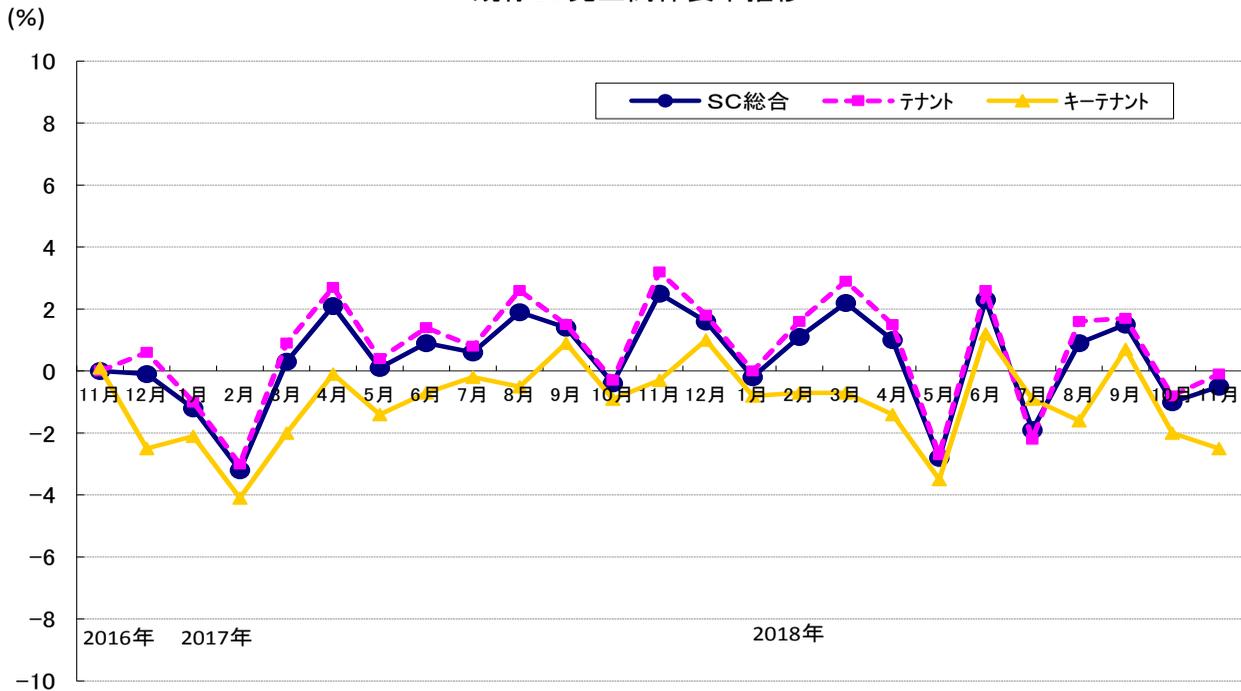
報道関係各位

**SC販売統計調査報告2018年11月 既存SC前年同月比 : ▲0.5%**  
**地方とキーテナントの苦戦が響き2ヶ月連続でマイナス**

**< 2018年11月度・全体概況 >**

- 11月度の既存SC売上高は、総合で前年同月比▲0.5%となり、前月(同▲1.0%)よりマイナス幅は縮小したものの、2ヶ月連続で前年を下回った。テナントは同▲0.1%でほぼ前年並みだったものの、キーテナントは都心部を除き全国的に売上が伸び悩み、同▲2.5%となり全体を押し下げた。前月と同様、休日日数が前年同月と比較して1日少なかったことに加え、全国的に気温が高めに推移したため季節商品の動きが鈍かったことも影響した。
- 立地別・構成別は、中心地域が前年同月比+1.0%、周辺地域は同▲1.2%と明暗が分かれた。中心地域を都市規模別に見ると、大都市も中都市もテナントは前年を上回ったが、キーテナントについては、大都市は百貨店が好調で同+3.9%と前年比プラスとなった一方で、中都市では百貨店が逆に全体を押し下げる形で同▲6.4%となり、地方都市での苦戦がみられた。
- 立地別・地域別は、周辺地域の苦戦が多く見られ、9地域中8地域で前年比マイナスとなった。北海道は北海道胆振東部地震のあった9月以降マイナスが続いていたが、下旬から気温が低下して冬物衣料に動きが見られ、3ヶ月ぶりにプラスに転じた。
- 都市規模別・地域別は、政令指定都市の総合は前年同月比+0.4%と堅調であった。特に北九州市はリニューアル効果もあり同+9.0%と前年を大きく上回った。一方で、その他の地域は総合で同▲1.2%となり前年を下回った。特にキーテナントが不調で、北海道を除く8地域で前年比マイナスとなった。
- テナントの業種毎の販売動向を見ると、飲食とサービスを好調と回答したSCが今月も多かった。一方、10月に引き続き気温が高めに推移したことにより、婦人衣料と靴・鞆の冬物が伸び悩み、売上不振と回答したSCが多かった。

既存SC売上高伸長率推移



この件に関するお問い合わせは 情報企画部: 金田・菰田・高橋  
TEL: 03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当：高橋・村松・大内・浅田  
Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539  
Mail. pr@jcsc.or.jp